

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
技術分野のガイダンス	2	・技術分野の学習の見通しを立てる ・学習内容を知る			・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。(態)
情報の技術の原理・法則と仕組み	5	情報の技術について以下の点を理解し身に付ける ・情報のデジタル化 ・情報通信ネットワークの仕組み ・安全に利用するための情報モラル ・安全に利用するための情報セキュリティ ・情報の技術の工夫の読み取り	・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。(知)		・主体的に情報の技術について考えようとしている。(態)。
双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	7	双方向性のあるコンテンツについて以下の点を理解し身に付ける ・問題の発見、課題の設定 ・コンテンツの構想 ・コンテンツのプログラムの制作 ・問題解決の評価、改善・修正	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。(知) ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバックができる技能を身に付けている。(知)	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。(思) ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) ・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思)	・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。(態) ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	3	材料と加工の技術について以下の点を理解し身に付ける ・木材、金属、プラスチックの特性 ・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・材料と加工の技術の工夫の読み取り	・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。(知) ・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。(知) ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。(知) ・工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。(知) ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。(知)	・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思)	・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。(態)
材料と加工の技術による問題解決	18	以下の点において問題の発見と課題の設定ができる ・製作品の構想、設計 ・製図 ・製作の計画 ・作業手順を考えた製作 ・問題解決の評価、改善・修正	・製作に必要な図の描き方を理解している。(知) ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。(知) ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。(知)	・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思) ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。(思) ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。(思) ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思)	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)